

ピロコッカス・フリオーサス由来のNiFe型細胞質水素化酵素、組換え

Cat. No. NATE-1691

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 [NiFe] 水素酵素は、小サブユニット (S) と大サブユニット (L) として知られる最低2つのサブユニットを含んでいます。小サブユニットは3つの鉄-硫黄クラスターを含み、大サブユニットは活性部位を含んでおり、ニッケル-鉄中心が分子トンネルによって溶媒に接続されています。これまでに、ペリプラズミック、細胞質内、膜結合型の水素酵素が発見されています。
[NiFe] 水素酵素は分子酸素 (O₂) によって不活性化されることが知られています。
Pyrococcus furiosusの[NiFe] 水素酵素はヘテロテトラマーであり、追加の2つのサブユニットが酵素にNAD(P)(H)を電子キャリアとして使用することを可能にします。

別名 細胞質 [NiFe]-水素酵素; OE-SHI; 細胞質水素酵素; NiFe型細胞質水素酵素; SHI; [NiFe] 水素酵素

製品情報

由来	パイロコッカス・フリオーサス
形態	液体
製剤化	50 mM Tris-HCl、100 mM NaCl、5 mM DTT、20% グリセロール pH 8.0 の 1 mg/ml 溶液
分子量	Predicted: 155 kDa, Size Exclusion: 149 kDa +/- 5 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>100 U/mL
濃度	1mg/ml
熱安定性	周囲温度100°Cまで
緩衝液	50 mM トリス、2 mM DT、300 mM NaCl、pH 8.2
単位定義	1ユニット (U) は、1 μmoleのH ₂ が1分あたり1 mgで発生することを示します。

保管・発送情報

保存方法 このアイテムは酸素に敏感です。室温で密な嫌気環境 (<10 ppm O₂) で密封保存した場合、最大6ヶ月間安定しています。長期保存の場合、タンパク質は窒素で急速冷凍し、-80°Cで保存できます。